

「農作物を用いたアルツハイマー病の新治療の開発」

平成 21 年度シーズ発掘試験成果発表会

21 世紀の長寿社会では、認知症、特にアルツハイマー病の安全で効果的な治療法の開発が待ち望まれている。この病気は、アミロイドベータペプチド (A β) の脳内蓄積が原因と考えられ、A β 注射によるワクチン療法の可能性が示されている。ワクチンは高価であり副作用の心配もある。我々の研究グループは、より安全でより安価なアルツハイマー病の新ワクチンの開発研究を進めている。本発表会では、科学技術振興機構重点地域研究開発推進プログラム平成 20 年度、21 年度シーズ発掘試験での成果を含め、農作物を用いたアルツハイマー病の新治療の開発に関わる最新の研究成果を紹介する。

開催日 : 平成 22 年 3 月 11 日 (木) 14:00~16:00

開催場所 : 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター
研究 C 棟 1 階セミナー室 (C-106)
(岩手県盛岡市下厨川字赤平 4)

内容

はじめに

「アルツハイマー病の治療戦略」

石浦章一 (東京大学教授) 14:05-14:30

「ウイルスベクターを用いた有用物質生産」

渡辺雄一郎 (東京大学教授) 14:30-14:55

「米タンパク質に対する免疫寛容の誘導」

野嶋純 (東京大学大学院博士課程 2 年) 14:55-15:20

「米アルツハイマー病ワクチンの開発」

吉田泰二 (農研機構上席研究員) 15:20-15:45

その他

参加申込み先

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平 4
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター 寒冷地特産作物研究チーム
吉田泰二
TEL 019-643-3698、E-mail : yoshidat@affrc.go.jp

会場へのアクセス : 添付図等参照のこと

